

第 4 回東浦町総合計画審議会 会議録

会 議 名	第 4 回東浦町総合計画審議会	
開 催 日 時	平成 30 年 7 月 30 日（水）午後 1 時 30 分から	
開 催 場 所	勤労福祉会館 会議室 1	
出 席 者	委員	会長 千頭 聡 委員 山下 享司、久米 賢治、竹田 正巳、加藤 龍雄、 神谷 英一、久米 弘、小山 真弓、杉浦 義治、鈴木 鑑一、田島 由美子、都筑 一男、外山 淳恵、 成田 賢治、成田 盛雄、二宮 立美、間瀬 宗則、 水野 博隆、祖山 薫、戸張 里美、野村 雅廣、米島 竜雄
	事務局	町長、教育長、企画政策部長、総務部長、健康福祉部長、生活経済部長、建設部長、会計管理者、教育部長、建設部次長、建設部技監、企画政策課長、企画政策課主幹、企画政策課課長補佐兼企画政策係長、企画政策課主査、企画政策課主事、第 6 次東浦町総合計画策定支援業務受託業者 2 名
議 題 (公開又は非公開の別)	1 あいさつ 2 議事 基本計画（部門別計画）について 3 その他	
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	—	
傍聴者の数	5 名	

審 議 内 容 (概 要)	議題の審議内容は、別紙のとおり
備 考	

【議事要約】

開会

事務局	(開会、資料の確認)
-----	------------

1. 町長あいさつ

町長	昨日までタウンミーティングを行い、全6地区終了した。幅広い意見を頂いた。例えば、「もう少し分析的な示し方はできないのか」、「戦略をわかりやすく示したほうがいいのでは」、「女性の参加がない」、「環境問題についての記述に厚みを持たせた方がいいのでは」、など、多岐にわたる意見を頂いた。 本日も遠慮なく意見を出して頂き、皆様の意思を反映できたらと思う。
----	---

2. 議事

基本計画（部門別計画）について

事務局	(資料1・2・3についての説明)
委員	防災について、最近の災害は人知を超えた脅威が各所に出ている。現在の基本計画の内容としては、対策が記載されていることが多い。災害等が起きた後の対応をどうするかが重要である。地方制度も広域的になっている。消防、救急など緊急性があるものについては、対応策を謳ってもいいのではないか。総合計画の内容としてふさわしいかどうかは検討の必要はあるが。
会長	一つの自治体のみでの対応ではないものも基本計画に記載されている。
委員	道路の計画について、生路地区、藤江地区に帰る子どもたちは危険である。国道の現状についての改善が県から長期計画として出ているが、30年、40年と放置されていると感じる。歩道が無い、自転車を通れるようになっていない等、危険である。お年寄りが電動カーで車道を走っていることが多いが、その方々の安全を守ることも必要である。
委員	本日は基本構想の見直しが出てくると聞いていた。今回提出がなかった理由は何か。
事務局	前回の部会では、議論する時間が足りておらず、基本計画の見通しが立った段階で、基本構想の修正を想定していた。そのため、次回の審議会では、基本構想と基本計画をまとめた修正版を示していきたい。

委員	次回の審議会で、基本構想と基本計画、今回の議論を含めて修正したものを示していただくということだが、それはお盆休み前か。
事務局	いつまでに発送できるかはまだわからない。なるべく早く送付できるようにする。
委員	次回は自身が出席できそうにないため、意見を言わせていただく時間を確保していただけるよう、提出をお願いしたい。 もう一点、人口減少のステージに入り、施策の見直しが必要であろうということで、今回の見直しに至っているとのことだが、私が調べた所、平成 28 年 2 月に東浦町人口ビジョンを策定されおり、その中では 2060 年まで人口は減るとされていて、今回の総合計画の推計と合致していないようだが。
事務局	東浦町人口ビジョンは、全国の市町村が同時に作成したものである。 平成 28 年 2 月に東浦町人口ビジョンを策定したが、その直後に平成 27 年の国勢調査人口の確定値が出され、東浦町をはじめ多くの自治体が一斉に下振れしていた。平成 27 年の国勢調査人口の確定値を参考にして、第 6 次総合計画では 20 年後に 45,000 人という人口見込みを立てた。 合計特殊出生率 2.07 は人口が横ばいになる数値であり、目指すべき数値であるが、現状の 1.45～1.5 をそこまで上げるのは現実的ではないという判断から、平成 27 年の国勢調査人口の確定値での更新とともに見直し、1.8 とした。
会長	他に意見等はあるか。
委員	部門別計画 P44 の「地球温暖化防止・廃棄物」の目標について、パリ協定以降、大きく世界が変わっている中で、地球温暖化について取組の考え方を改めないといけないと感じている。ごみ処理問題は地球温暖化の要因のひとつであるが、世の中の変化を捉えて、再度議論が必要であると思う。
委員	部門別計画 P28 の「学校教育」の所で、「目指します」という表現になっており、他も「目指します」という表現が多いが、「進めます」の方が積極的であるように感じる。「目指します」は意思としては弱くなったのではないか。
事務局	目標の記載としてふさわしいよう、「目指します」に変更した。意思が弱くなったというわけではない。
会長	他に意見等はあるか。
委員	資料 1 の P 8、No. 103 について、キャッチフレーズで「ちょ

	うどいいがあります」とあるが、「ちょうどいいまち 知多」という形で知多市がかなり強く打ち出している。
会長	代替案も共に考えていただければと思う。
委員	巽ヶ丘に住んでいる方々など、周辺のまちの方に、そのことを指摘されるとかなり苦しいのではないか。このまま出すかどうかも含め議員の方などに聞いていただき、私は考え直した方がいいと思う。皆さんはどうお考えか。
委員	東浦町と知多市は東西で同じ位置にある。 様々な案も考えたが、「ちょうどいい」が良いとは思う。
委員	区長の立場として、先ほどの委員の意見について申し上げたい。北部中学の件について、3年位前からお願いしているが、中学校まで歩道がない。知多信用金庫の所は、側溝に段差がある。これも長年の懸案である。今年度で全て出来ると聞いていたが、実際はまだ3年かかるそうである。歩行者の安全は、地区の問題としても取り上げていくべきではあり、総合計画には入らないかもしれない。道路の拡幅は長期的な計画であるため、地区のことと分けて考えないといけない問題ではあるが、現状としては20年先でも、5年先でもなく、待ったなしの問題である。我々はコミュニティの会長あるいは区長の立場としてできることを進めて行きたいと考えている。
委員	「ちょうどいい」という件は、皆さんの案があれば、もう一度検討してもらおうということで。
会長	8月21日の審議会までに、「ちょうどいい」という件に対してどう考えるか、ご意見があれば事務局へお願いする。その後、パブリックコメントにかけ、判断する。他にあるか。

閉会

事務局	(閉会)
-----	------

以上